



《将来に向けた取組方針》

ライオンは、環境省「エコ・ファーストの約束」のもと、脱炭素社会、循環型社会、そして自然との共生の実現に取り組んでいます。自然の恵みをいただきながら毎日の暮らしを支えるさまざまな商品をお届けしており、自然環境や生物と深い繋がりがあります。地域の課題に対し外部団体等と協働で、生物多様性保全活動を計画・推進しています。原材料調達においても生物多様性に配慮する方針に則り活動しております。

〈目指す姿や活動状況〉

1. **全事業所 15 地点での生物多様性保全活動の実施**を目指しています。生物多様性保全の意義の理解と参画意識の醸成が活動の基本になると考え、2009年から「ライオン山梨の森」森林整備を新入社員研修にも取り入れています。
2. **原材料調達**では、持続可能な原材料の調達に取り組み、SDGsの目標12、15に沿って、「森林破壊ゼロ」を支持し公表しています。

〈社会に向けたメッセージ〉

資源の持続可能な利用に努めるとともに、それぞれの地域に根ざした生物の保全活動を地域の方々を行うことで、「自然との共生」社会の実現を目指します。

〈代表的な取組み事例〉

① 森林整備活動：ライオン山梨の森 2006年～

間伐や植栽作業を延べ1700人以上の社員ボランティアが参加。地元の方々と一緒にを行い、森の重要な役割を共有しました。



② 生物多様性保全活動：アカウミガメの保護 2009年～

防護柵の製作や設置方法を継続的に検討した結果、2016年に念願の食害ゼロを達成しました。ウミガメの孵化率調査から自然界の厳しさを実感しました。

